

「フォーラム 山梨県で学校の先生になろう！」

□令和元年度 2019 フォーラム『山梨県で学校の先生になろう！』実施内容

目的 ①リーダー研修の一環としてステージ2の教員対象に運営研修を行うことにより、学校経営のミドルリーダーとしての資質・能力を向上させる。

②山梨県で教員人生を送るメリットを大学生・高校生に周知することにより、山梨の教員採用試験受験者を増やす。

対象 大学生(県内・県外),および高校生(県内 2,3年生)

日程 令和元年10月13日(日)(台風による順延) → 12月8日(日) 14:00~16:00

会場 山梨県立図書館 多目的ホール

参加者 10月13日 (予定者 大学生95名 高校生 56名 計151名)

→ 12月 8日 (参加者 大学生80名 高校生 50名 計130名)

内容 14:00 開会

14:10 ~ 15:15 パネルディスカッション「『山梨で先生する』っていいね！」
パネリスト; 小学校教諭4名 中学校教諭4名 高校教諭2名
特別支援教諭3名

15:30 ~ 15:55 ミニ講義「山梨県で先生になるには」
教育庁義務教育課 人事担当 秋山 克也 氏

16:00 閉会

~16:20 「質問ブース」

受講者の声 (抜粋まとめ)

- ・山梨県で現役で働く先生方の生の声を聴くことが出来て、貴重な体験となった。
- ・地元「山梨の魅力」を知ることが出来た。
- ・教職についてさらに興味が深まった。
- ・高校生と大学生が別の方が、より具体的に学べるのではないかな。
- ・機会があれば現場で大変なこと、児童生徒や保護者との関係など具体的なことも知りたい。
- ・山梨県で教師が直面する問題に対してどのような対策をしているのか、学校現場がどのように変わろうとしているのかについて教育委員会や先生方の声を聴くことが出来れば「山梨で先生になろう」という気持ちを持つ人が増えるのではないかなと思う。

□令和2年度

現時点の状況として

- ・12月13日(日) 県立図書館「多目的ホール」 150名定員 …借用済み
- ・新型コロナウイルス感染症被害の状況が見通せないなか、現在予定する会場内において100人以上の学生、生徒を集めることでの「3つの密」を完全に回避出来ない
- ・参加者および関係者における安全安心の担保が出来ない。
- ・昨年度と同一形式でのフォーラム実施については、開催が難しいと判断。

企画案

「WEB会議システム」による「山梨で学校の先生になろう」ミニフォーラム

目的 山梨県で教員として働く「利点や優位性」について、現場の先生方から大学生、高校生に対してメッセージを送り、また「双方向」での意見のやり取りによって参加者の教職に対する理解を深め、山梨県の教員採用試験の受験者を増やす。

対象 大学生(県内・県外) 50名,および高校生(県内 2年生) 30名 計 80名 (今後検討)

内容 WEB会議システムにより、山梨で働く「中堅・若手」教員による『公開討論会』の様子の配信。
双方向型「大学生、高校生」とのオンライン相談会として質疑応答を行う。
総合教育センター指導主事 若手教員

実施日(予定) 令和2年12月13日(日)「総合教育センター」を主会場に配信を行う。